

さぐり

スケッチ・ダイアログレポート

2022年4月

# 新型コロナウイルス感染症

## への対応をめぐる

## 市民的論点

対話を通じた  
問題の素描

奈良由美子(放送大学) / 科学コミュニケーション研究所(さぐり)

企画支援: JST-RISTEX研究開発プロジェクト「現代メディア空間におけるELSI構築と専門知の介入」(代表: 田中幹人)

## 1 市民への見通しの共有が必要

- ・収束のイメージ、対策のゴールが市民とのあいだで共有できていない。このため、これまでの取り組みの効果を実感したり、新たな政策を理解する際の妨げとなっている。
- ・今後のさまざまな政策を展開する前提として、今後の見通し、ゴールのイメージを共有することが必要。

## 2 公的メッセージの回路の再検討

- ・市民のメディア接触傾向は多様化している時代である。SNSや、公的機関のWebサイトを積極的に参照するタイプの市民は、依然としてコロナに関する関心を維持している。
- ・しかし、テレビのニュース番組やワイドショーの時間枠、ネットニュースの表示件数においてコロナ情報が占める割合が、コロナに関するリスク認知と連動している例もある。
- ・事態の長期化によるニュースバリューの低下、ウクライナ情勢報道の増加などにより、コロナ関連のニュースが相対的に減少している。このため、状況を十分に把握できず、政府からのメッセージが不十分であると感じている層が一定数存在する。
- ・視覚的な情報を付加してメディアに取り上げてもらう、政府広報をより積極的に利用したりするなど、受動的な情報行動をとる市民にも、重要な情報が繰り返し安定して到達する工夫が求められる。

## 3 まん延防止等重点措置に関する説明

- ・周囲に感染者が発生することもある一方で、体感的に感染者数が多いと感じる一方で、まん延防止等重点措置が解除されたことから、不安に思っている市民がいる。
- ・これは、いずれまた措置を出す状況になった際の効果にも影響があると考えられるため、改めて十分な説明が必要。

## 4 ワクチンに関する説明

- ・ワクチンの評価については幅広い意見のスペクトラムが存在するが、3回目を接種する意義、今後の見通しなどについて疑問を持つ市民に対して、十分な説明が求められる。

## 5 経済支援策の適切なデザインと説明

- ・助成金などの経済支援策について、偏りや、支援対象の選定についての不満が存在する。
- ・政策ポートフォリオの中で、支援対象の合理的な優先順位付けがなされていること、規模、時期、手続きなどが適切にデザインされていることについて、十分な説明が求められる。

# エグゼクティブ

# サマリー

要約

重要な市民的論点と  
インプリケーション

・2022年4月16日土曜日、新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について、市民的論点を素描するため、公募により参加した市民によるオンライン対話を実施した。

・これまでの市民対話は、一般論として次のような点に困難が認められ、政策過程で利用することが難しかった。

- ▼ 政策に反映できるタイミングで結果を得られるスピード感
- ▼ 目的、手法、解釈の明確さと、参照情報としての正当性、利便性
- ▼ 実施コストなど

・本レポートに掲載した対話は、内容としても、タイミングとしても、政策過程で利用可能な参照情報を生み出すために、スピードと精度、実施コストに配慮してデザインした。

・本レポートで用いた手法は、質問紙によるアンケート調査のような定量性はないが、互いの考えや思いを共有し、自ら立てた問いについて調査を行うことで、短い時間、小さな負担で、より熟慮された意見を捕まえ、問題を素描できる利点がある。

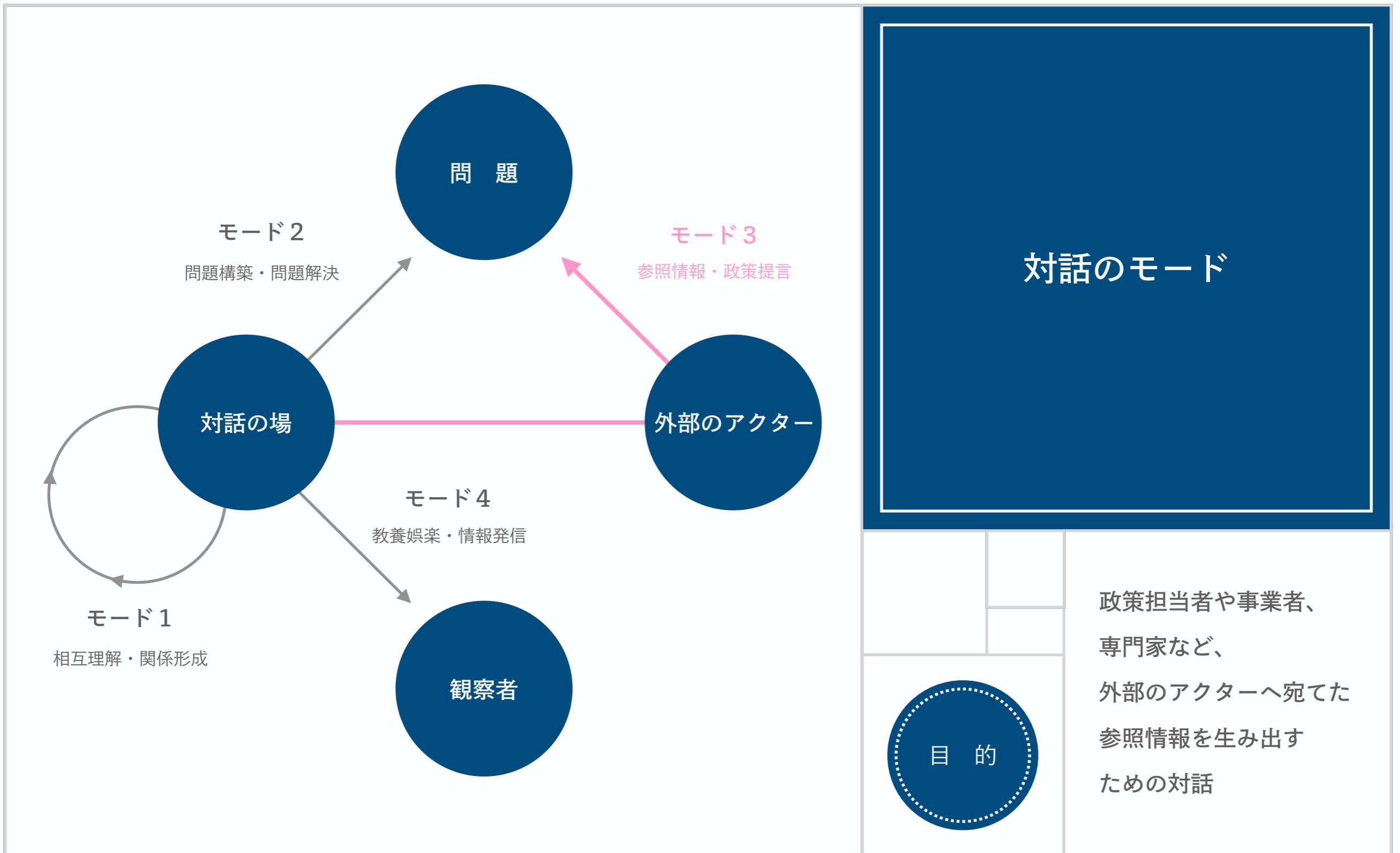
・個々の意見について見ると、参照すべき点がある場合も、ない場合もあるため、目に付いた意見だけを恣意的に取り上げること（チェリーピッキング）は避けるべきである。

・参加者の意見を単純に足し合わせただけでは得られない、対話全体を通じて構築される論点の構造に注目し、政策形成や調査研究のための参照情報としてご利用いただけると幸甚である。

## スケッチ・ダイアログ



市民の対話を通じて  
問題を素描し、  
問題解決に役立つ  
参照情報を生み出す



対話には様々な目的に応じた手法があるが、ここでは対話の場に視座を置き、次の4つのモードとして整理した。本レポートに記載された対話は、主としてモード3の対話を意図している。

- モード1 相互理解・関係形成 対話によって生まれた成果を、対話の場で分かち合い、参加者間の相互理解、創造的な関係を形成することを目的とする。
- モード2 問題構築・問題解決 対話によって、問題を構築し、解決に必要なリソースを持ち寄って、自律的な問題の解決を目指す。
- モード3 参照情報・政策提言 対話によって生まれた成果を、政策担当者、意思決定者など、問題解決に必要なリソースを有する者へ届け、対話の場の外側で問題の解決を図る。
- モード4 教養娯楽・情報発信 対話の場を第三者に対して開き、観察者に教養、娯楽を提供し、情報を共有することを目的とする。

## 1 自己紹介

2 テーマに関する事前評価（4段階評価（評価できる、どちらかという評価できる、どちらかという評価できない、評価できない）と理由）

## 3 チャットワークと対話

テーマに関する以下の点をチャットボックスに3つ記載した後、順番に発表し、全体で対話する。

3-1 よいと思う点

3-2 よくないと思う点

3-3 よくわからない点（疑問点）

## 4 インターネット調査

一人1つの調査項目を選定し、30分間、個別にインターネット調査を実施する。

## 5 調査結果の共有と対話

6 テーマに関する事後評価（方法は、事前評価と同様。）

7 6つの論点に関する事後アンケート

\*詳細は、付属資料参照。

# 対話のプログラム

デザイン

聴くことと話すことを丁寧に切り分け、それを積み重ねることで協働的に問題の構築を図る

3つの対話はすべて、オンライン会議システムZoomを使ったバーチャル空間で実施した。

バーチャル空間は、フィジカル空間と異なる特質を持ち、フィジカル空間での対話手法をそのまま使い回すことができないが、オペレーションやファシリテーションを工夫することで、フィジカル空間の不完全な模倣を超えた、創造的な対話を生み出すことができる。

・イベントの概要

日時 2022年4月16日 土曜日 13時00分～16時30分

主催 科学コミュニケーション研究所（さくり）

実施者 田原敬一郎（さくり）、白根純人（さくり）、宇都幸那（さくり）

目的 対話を通じて、新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応への期待、懸念、疑問点を明らかにする。

参加方法 Zoomミーティング 謝金 3600円（税込）

参加者 一般市民（公募） 7名

参加者の属性

年代	居住地	職業	性別
20代	東京都	フリーター	男性
40代	岩手県	看護師	女性
40代	神奈川県	会社員	女性
40代	沖縄県	フリーライター	男性
50代	宮城県	個人事業主	女性
50代	大阪府	主婦と在宅の仕事	女性
60代	島根県	パート	女性

新型コロナウイルス

感染症をめぐる

行政の対応について



イベントの概要

# 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応についてのスケッチ

## 1 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応への市民の評価

- 1) 突出した理由はないが、全体的に厳しい評価が多かった。
- 2) ワクチン、水際対策などにより、感染の拡大を一定程度、抑えられている点が、ポジティブな評価の理由として挙げられた。
- 3) 感染対策の効果に対する実感の欠如、政府からのメッセージ・情報の不足、まん延防止等重点措置の解除、ワクチンを中心とする感染対策、経済活動の優先、給付金などの経済支援の偏りなどが、ネガティブな評価の理由として挙げられた。

## 2 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応についての市民的論点

- 1) 今後の見通し ゴールのイメージが湧かないため、感染対策の継続、経済活動とのバランスを考慮した政策などに共感できない。
- 2) 政府からのメッセージ 十分な情報を受け取っておらず、現状をどのように解釈してよいかわからない。
- 3) 自治体の取り組み 政府と連携し、生活に密接した重要な活動を行なっているが、地域間格差が存在すると感じている。
- 4) まん延防止等充填措置 感染者数が多いと感じる中で解除されたことを理解できず、不安に思っている。
- 5) 水際対策 十分になされていると感じている。
- 6) 検査 キットの配布、無料検査について評価するが、感染対策全体での優先度、検査方法の選択に疑問も感じている。
- 7) ワクチン 3回目の接種手続の迅速さをはじめとするワクチン政策を評価する声がある一方で、今後の見通し、長期的なリスクについての不安や疑問が存在する。
- 8) 経済支援 給付金を受け取った者と受け取らない者の間で評価は分かれ、経済支援の対象をどのように選定しているのか疑問に思っている。
- 9) 経済対策 ロックダウンを行わず、ミニマムな経済活動を維持する政策を支持するが、GoToキャンペーンについては疑問に感じている。
- 10) その他の論点 自粛政策、濃厚接触者、政策の法的根拠、感染症法上の位置付け、数値の解釈、重症化・死亡。

## 3 インターネット上の情報

感染状況や対策の現状と課題、最近の流行株の性質、重症化する人と軽症で済む人の違い、濃厚接触者になった場合の対応、ワクチンの副作用、ワクワクキャンペーンとはなにか、コロナを題材にしたアート作品について、インターネット上に十分な情報が存在し、その気になれば、概ね妥当な調査結果を得ることができる。コロナの終息予測については、情報を得ることが難しい。

## 4 6つの論点をめぐる市民の意見

- 1) 感染症と経済のバランス→経済優先の政策・給付金への不満、不安定
- 2) コロナの症状と後遺症→ある程度理解している
- 3) 3回目のワクチン接種→賛否に幅広いスペクトラム
- 4) ワクチン接種率を高める方法→有効性・安全性の発信、特典、強制
- 5) 第7波への対策→感染対策の推進・コロナとの共生
- 6) 再度のまん延防止等重点措置→感染対策の推進・コロナとの共生

# 1 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応への評価 1 / 2

	対話前の評価	対話後の評価
1 評価できる	0 人	0 人
2 どちらかという 評価できる	1 人	2 人
3 どちらかという 評価できない	4 人	4 人
4 評価できない	2 人	1 人
対話前後の変化		3→2 1人 4→3 1人
ポジティブな評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいコロナが出る割には、広がってないので、注射やいろいろやってくださっているのかなと思っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水際対策とワクチン接種の進行はプラス、ただ、一律給付金がないことと、コロナ情報の発信の少なさがマイナスだから。</li> <li>・皆さんの発表から、少しだけど進行しているものもあると感じました。</li> </ul>

# 1 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応への評価 2 / 2

	対話前の評価	対話後の評価
ネガティブな評価の理由	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 以前のように頻りにテレビでも言われなくなって、情報がほとんど分からない。以前は担当大臣が訴えかけていたが、今では戦争の影に隠れて情報が得られていない。</li><li>・ 感染者数が非常に多いままなのにまん延防止等重点措置を解除する理由がわからないため。措置の解除により協力金が出ないため、飲食店の営業活動などは通常に戻らざるを得ず、感染対策を何もしていないのと同様に感じる。</li><li>・ コロナ禍となって数年が経過しているにも対応に目立った進展が見られるように感じられないので……。ワクチン接種、水際対策はできているように思えるが、経済対策がメインになってきているために、感染対策に不満が生まれているのでは</li><li>・ 全然、市中感染は収まらないし、収まる気配もないので、なんのためのワクチン？感染対策？なのか 本当に勘弁してほしいという感じです。もうインフルエンザのように感染分類を変えたほうがいいのではとさえ感じます。</li><li>・ 理解できるような情報や説明がないところ。三回目のワクチン接種の理由が理解できない、子供への接種が後付けに見え、十分な説明がなされていない。ワクチンの重要性（インフルエンザと同様に大切だ）ということをもっと伝えるべき。感染者数について、総数だけでなく、年齢別の数なども伝えてほしい。</li><li>・ ぼんやりしてる。データに基づく判断がなされていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 今から出回る株が危険性が高いのに、以前程大変さを訴えかけてこない。感じない。</li><li>・ やはりGWを目前としたこのタイミングでの蔓延解除に疑問しか覚えないう</li><li>・ ワクチンをあてにしすぎていて、検査や補償の拡充がまだまだ足りないと思うから。</li><li>・ 通常通りの経済活動に戻すには早すぎるし社会全体の疲弊具合から可能だとは思えない</li><li>・ 一部の人は一生懸命立案しているのかもしれないけれど、やはり税金のばらまきが許せず。偏りあるコロナ給付金配布ではなく全国民平等に配布してもらいたい。業界ごと、年齢ごとに偏りあるコロナ給付金に対して不満がある。なのに税金だけは増税されるという。働けど働けど損をしている気持ちになる。水際対策が遅いとおもう。海外で流行している危険な新株があるのだから、空港閉鎖したら良いと思う。あとは ワクチンに対する安全性の担保が低い。ワクチンの副作用が大きく、3回目はもう打ちたくないという人が大変多い。もっと安全なワクチンの早期開発を望みます。あとは、ゴールデンウィークが近いが、ロックダウンとまでいかなくても、制限かけないと、おそらくまたコロナがまん延して昨年とおなじようなことになるような気がする。終わらない。</li><li>・ 全体的な皆さんの話しも評価できない部分が多いですので、最初と変わらず3になります。</li></ul>

## 2 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応についての市民的論点 1 / 4

論 点	よいと思う点	よくないと思う点	よくわからない点（疑問点）
今後の見通し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちまちな対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこをゴールとしているのか？コロナが終息することが見えないのに、どこをゴールにしているのか、不明</li> <li>・本当にここまで感染対策をして防ぐ必要があるのか？ どこまで弱毒化したら終わりになるのかゴールがしりたい</li> </ul>
政府からのメッセージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府関係からのコロナ対応についての説明が少なくなった</li> <li>・コロナ感染による死者が多いが、対策がはっきりしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染者数多いのに以前程、ピリピリモードで国民に訴えかけない理由。安心して良いのか、安心する人が増えるのも怖い、感染対策を緩める理由は、給付金の支給を抑えるためなのかという疑念も</li> </ul>
自治体のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の保健所などがめちゃくちゃ頑張っている点は中央からの伝達にてきちんと組織的に動いてるなど感じる。食料品の寄付を募り、困っている人に提供していることなど。</li> <li>・政府の指示が市役所から民生委員へもきちんと依頼がいき地域をまわり民生委員さんが一人ぐらしの高齢者へコロナワクチンの予約を手伝ったりして草の根ができていた。</li> <li>・行政の中にも何かしようとしている人はいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応に地域間格差があること。検査キットの配布、ファイザーワクチンの供給など</li> </ul>	
まん延防止等充填措置		<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ感染者多いのに急速に色々解除し過ぎ。野球場での声援など</li> <li>・まん延防止等重点措置の解除</li> <li>・感染状態に見合わない蔓延解除。このままゴールデンウィークに入ったらどうなるのか、日常が戻ってきたかのような感覚が怖い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まん延防止措置の基準について</li> </ul>
水際対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外からの入国受け入れを制限している。昔の日本が戻ってきたように感じる。外国人の感染対策について不安。</li> <li>・空港での水際対策</li> <li>・水際対策がよいこと</li> <li>・空港での水際対策が迅速のところ</li> </ul>		

## 2 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応についての市民的論点 2 / 4

論 点	よいと思う点	よくないと思う点	よくわからない点（疑問点）
検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗原検査キットの配布</li> <li>・無料PCR検査ができるようになったところがよかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR検査よりワクチンの方に力を入れているところ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCR検査ではなく抗原検査キットを配布する理由</li> </ul>
ワクチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン接種券の発送対応が比較的早かったところ。</li> <li>・ワクチンがほかの国に比べて結構はやくに供給され、接種できていると思う。</li> <li>・1回目2回目接種より予約の電話がつながりやすいようです。</li> <li>・ワクチン接種を推進しているところ</li> <li>・注射が順調にされていること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3回目の接種券届いたがファイザー打てるのか？1、2回目と同じメーカーのワクチンを打ちたい</li> <li>・何回ワクチンを打てばよいのか？いつまで続くのかもわからない</li> <li>・1希望のワクチンが打てないこと</li> <li>・将来的なリスクが見えない中で、ワクチンをくり返し接種し続けることは拙速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイザーとモデルナの2つのワクチン接種の効能違い</li> <li>・ワクチンを何回打たせるのか？副作用もあるし、何度も何度も短期間に体に入れたくないため</li> <li>・この先何回ワクチンを打てば良いのか</li> <li>・ワクチン接種でファイザーがうてないのはなぜか</li> <li>・ワクチンによってウィルスの変異が促進されてないか</li> </ul>
ワクチン・新薬開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬などの承認が早いように感じます</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国産のワクチンや薬の進み具合や今後の見通しは</li> </ul>
自粛政策			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自粛が家庭内暴力に。自粛政策と家庭内の問題の発生との関係、バランスをどう考えるか</li> </ul>
濃厚接触者			<ul style="list-style-type: none"> <li>・濃厚接触者になった場合の決まり。老人ホームの介護職で、クラスターが発生した場合でも、翌日の抗原検査で陰性であれば職場復帰するという対応をとったが、一般的な隔離方法とは異なっていた</li> </ul>

## 2 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応についての市民的論点 3 / 4

論 点	よいと思う点	よくないと思う点	よくわからない点（疑問点）
経済支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる市から5万円いただいた。住民税の納付額が減った方への給付</li> <li>・子育て世帯への10万円給付（台東区）</li> <li>・住民税非課税世帯への10万円給付</li> <li>・支援金の給付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非課税世帯の給付金が迅速では無かったこと（同居している親から聞いた話）</li> <li>・必要なところに支援が届いていない</li> <li>・会社員で大幅に給料が下がっている人が多いので、給付金があれば</li> <li>・一律給付をしないところ。住民税非課税、子育て以外でも困窮している人がいるので、支援対象を無理に絞り込むべきでない</li> <li>・給付金が本当に必要な方に渡っているのか問題。幅広く救ってほしい。できたら、全員に。</li> <li>・税金のばらまきはやめてほしい。きちんと困っている人にいくのならいいけれども、あまり困っていないのに補助金や無利子の貸付金などを借りている人もいるし、本当にこまっている人にはお金がいかず、さほど困っていない人にもばらまきの税金が使われ、とても嫌な気持ちになる。アベノマスクもそうだけど、もう少し有効的に税金はつかってほしい。こんだけ税金を無駄にばらまいといて、増税はやめてほしい。本当に困っている人に税金が届いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金支給の基準について。なぜその社会集団に注目したのか</li> <li>・一律給付金がでないのはなぜか</li> </ul>
経済対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済がもどるような対応をされている。ロックダウンせずに、最小限の活動で経済が回る政策は評価</li> <li>・経済対策が比較的早かった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・go toの噂。感染の危険があっても、飲食業、観光業を支援しろという政府のメッセージに感じた</li> <li>・gotoキャンペーン。もっと困っている人にお金を回せないのか</li> <li>・子供がいない世帯、医療職への支援が不足する中で、GoToで支援される業界が優遇されるなど不公平さを感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクワクキャンペーン</li> </ul>

## 2 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応についての市民的論点 4 / 4

論 点	よいと思う点	よくないと思う点	よくわからない点（疑問点）
政策の法的根拠			・ 政策の法的位置づけがよくわからぬ
感染症法上の位置付け		・ インフルエンザと同じ感染分類にして予防するくらいでいいのではないか？	
数値の解釈			・ 感染者数値化。数値を見ると恐怖心が喚起されるが、どう解釈し、どう対応するかが不明
重症化・死亡			・ 重症化する人とならない人の違いは何なのか？ ・ コロナ感染による死者が多いのはなぜか

# インターネット調査の結果（概要）

調査項目	調査結果の概要	出典・参考情報	評価
コロナの終息予測	感染状況とその要因、ワクチン、検査、医療体制、感染対策の現状と課題について明らかにした。	厚生労働省のHP	公的機関の公表資料から、現状と短期的な課題について、おおむね妥当な調査結果を得ているが、終息の予測については情報が得られていない。
最近の流行株の性質	BA2系統の感染力、症状、重症化リスク、この後の見込みについて明らかにした。	NHK新型コロナウイルス特設サイト、病院HP、NHKニュースサイト	公的機関の公表資料やメディアに掲載された記事から、おおむね妥当な調査結果を得ている。
重症化する人と軽症で済む人との違い	自然免疫、獲得免疫に関する一般論、感染者や死病者の男女比などを明らかにした。	厚生労働省のHP、Yahoo! ニュース	公的機関の公表資料やメディアに掲載された記事から、おおむね妥当な調査結果を得ている。
濃厚接触者になった場合の対応	濃厚接触者の定義、判断基準、該当する可能性がある場合の対応を明らかにした。	東京都福祉保健局のHP	公的機関の公表資料から、おおむね妥当な調査結果を得ている。
ワクチンの副作用	ファイザーとモデルナの副反応について、発現割合、症状、両者の比較、3回目の副反応の特徴について明らかにした。	厚生労働省のHP	公的機関の公表資料から、おおむね妥当な調査結果を得ている。
ワクワクキャンペーンとはなにか	ワクワクキャンペーンの目的、概要、事業の経緯、予算、現状を明らかにした。	経済産業省のイベントワクワク特設サイト、TBS NEWS、毎日新聞、読売新聞のHP	公的機関の公表資料やメディアに掲載された記事から、おおむね妥当な調査結果を得ている。
コロナを題材にしたアート作品	コロナの影響でアメリカに帰国できなくなり、日本に定住することを決めた映画監督について、その経緯と、進歩を求めない考え方を紹介した。	Yahoo! ニュース	妥当な結果を得られていない。なお、インターネット上には、コロナを題材とした作品に関する多数の情報が存在する。

# アンケートの結果 1 / 2

## Q1. 現在の日本における感染対策と経済のバランスをどう思われますか？

- ・ 経済を優先しすぎている
- ・ 給付金ばらまきすぎ
- ・ 感染対策の開きは意識の観点からバラ付きがありますが、これでキッチリしているかどうかの線引きが出来てある意味よかったです。経済に関しては何事も自己責任。現状に満足出来ないのから、自ら切り開いていけばいいやん！と言ってやりたいです。人に頼りすぎ。
- ・ どっちつかずと言うか・・・諸刃の剣の様な危うさを感じます
- ・ バランスは悪い
- ・ 不安定だと思う
- ・ いろいろな意見があり、どちらを重視するのか難しく思いました。

経済優先・給付金への不満、不安定

## Q2. 新型コロナウイルスに感染すると、ご自身やご家族の世代に、どのような症状、後遺症があるか、理解されていますか？

- ・ 理解しています。
- ・ ある程度している
- ・ あるとは思いますが、知らないこともあると思います。
- ・ テレビやインターネットで目にする一般的な情報の範囲の理解はしているつもりですが、自分自身に置き換えた時、実際どうなるかは正直未知数だと考えています
- ・ ある程度は理解出来てますが、その人がどのレベルになるかは未知の世界ですので、恐ろしいです。
- ・ 味覚障害、しびれ、感覚麻痺
- ・ 咳、くしゃみ、発熱などの症状と味覚などの障害の後遺症がある

ある程度理解している

## Q3. ご自身の世代に対して、3回目のワクチン接種は必要だと思われますか？

- ・ 必要だと思う
- ・ 思います。
- ・ はい。したくはないけれど
- ・ 主人が打つようにと言われたので、家族に安心を与える為だけの意味で必要です。
- ・ ワクチンの功罪を考えるとどちらとも言えないのが正直な気持ちです
- ・ 二十代である自信の世代には必要ないと思う
- ・ 思わないです

賛否に幅広いスペクトラム

# アンケートの結果 2 / 2

Q4. ご自身の世代について、ワクチン接種率を高めるとしたら、どのような方法が有効だと思われますか？（高める必要がないとお考えの方は、回答不要です。）

- ・ワクチンの有効性を広く知ってもらうようにすると思います。
- ・安全性をもっと示してほしい。具体的な数字とか。
- ・接種したらお金がもらえるなど、特典がないと打たないと思う
- ・国家の強制発動。私は反対ですが

有効性・安全性の発信、特典、強制

Q5. 新型コロナウイルス感染症の流行第7波について、お考えやご自身の対策を教えてください。

- ・ワクチン接種をたくさんの人にしてほしいです。
- ・水際対策をはやくしたほうがいい ワクチン接種を進めるためにも接種したひとには特典をあげたほうがひろまる
- ・定期的なPCR検査を無料でできる環境の拡充が必要
- ・仕事面はテレワークをさらに推奨、リモートでの会話を積極的に取り入れる。
- ・来年、町内の役員が回ってきますので、もう少しコロナには頑張って行事をすべてなくしてほしいというのが、正直な思いです。
- ・今後も第8波、9波と継続していく状況が考えられるとすれば、もはや抑え込むことは不可能と思われるので、今言われているWITHコロナ以上に(ワクチン接種一択の様な考え方でなく)現実的な共存の道を模索していかなければならないと考えます
- ・コロナと共生する政策に切り替えるべき

感染対策の推進・コロナとの共生

Q6. まん延防止等重点措置が再び出されたら、十分な効果が得られると思われますか？

- ・思います。
- ・完璧ではないですが、ある程度は効果はあると思います。
- ・十分とは程遠いかとは思いますが、一定の抑止力にはなり得るのかなとも思う一方、一度緩んだ気運はそこまで引き締まるとも考え難いと感じています
- ・十分ではないが、飲食店などの経営者にとっては協力金が配布されるので感染対策を拡充することができるようになると思う
- ・飲食店だけでなく香港みたいにロックダウンくらいしたら 効果はある
- ・得られない気がします
- ・ないと思います

3回目のワクチン同様、賛否に幅広いスペクトラム

# 資料

# 対話型市民調査

新型コロナウイルス感染症をめぐる  
行政の対応について

科学コミュニケーション研究所

さくり

さくり

2022年4月16日

ファシリテーション

田原敬一郎（さくり）

オペレーション

宇都 幸那（さくり）

ディレクション

白根 純人（さくり）

スタッフ

さくり

- ・ イベント名 対話型市民調査
- ・ テーマ 新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について
- ・ 主催 科学コミュニケーション研究所 さくり
- ・ 目的 対話を通じて、テーマに関する問題の構造を明らかにする。
- ・ 方法 チャットを用いながら、評価できるところ、できないところ、疑問点を話し合い、テーマを一つずつ選んでインターネット調査を行う。
- ・ 参加者 一般市民（知識、経験不問） 8名程度（公募、紹介）
- ・ 参加方法 Zoomミーティング
- ・ 謝金 3600円（税込） 翌月10日指定口座に振込
- ・ 調査結果の利用方法
  - 1 調査結果は、参加者個人が特定できる情報を一切除外して報告書としてまとめ、一般に公開します。
  - 2 映像、音声、文字起こしなどの記録は、科学コミュニケーション研究所の関係者（守秘義務を負う者）を除いて開示しません。
  - 3 参加者は、調査の内容、とくに他の参加者の個人情報に関わることについて、口頭、SNSを含め、第三者へ開示することはできません。（イベントの概要、参加した事実は、除く。）

## 対話の概要

さくり

- ・ スタッフの紹介
- ・ 調査の概要
- ・ 全体の流れ
- ・ Zoomの操作方法
- ・ テクニカル・サポート
- ・ 注意事項
- ・ 対話のルール
- ・ 自己紹介
- ・ 情報提供
- ・ 対話

## 全体の流れ

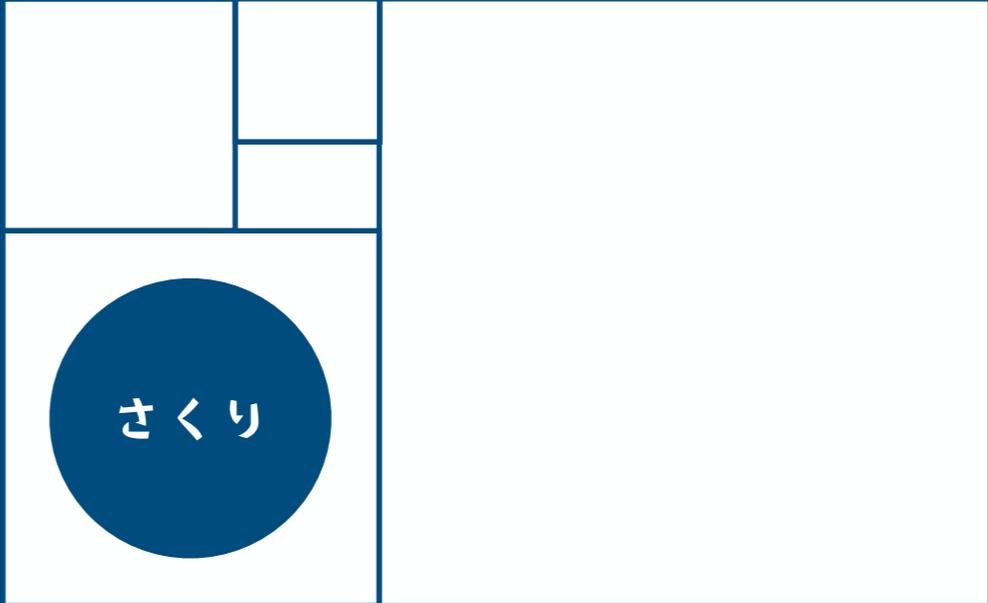
さくり

## ユーザーが操作する機能

- 1 オーディオ
- 2 ビデオ
- 3 チャット

その他の操作は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

## Zoomの操作方法



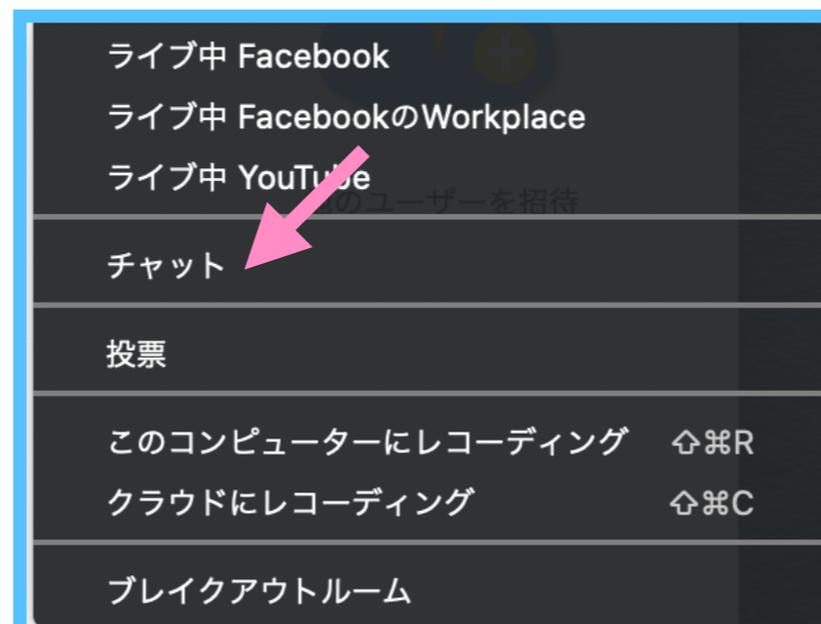
さくり

## パソコンの場合 「チャット」の開き方

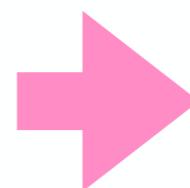
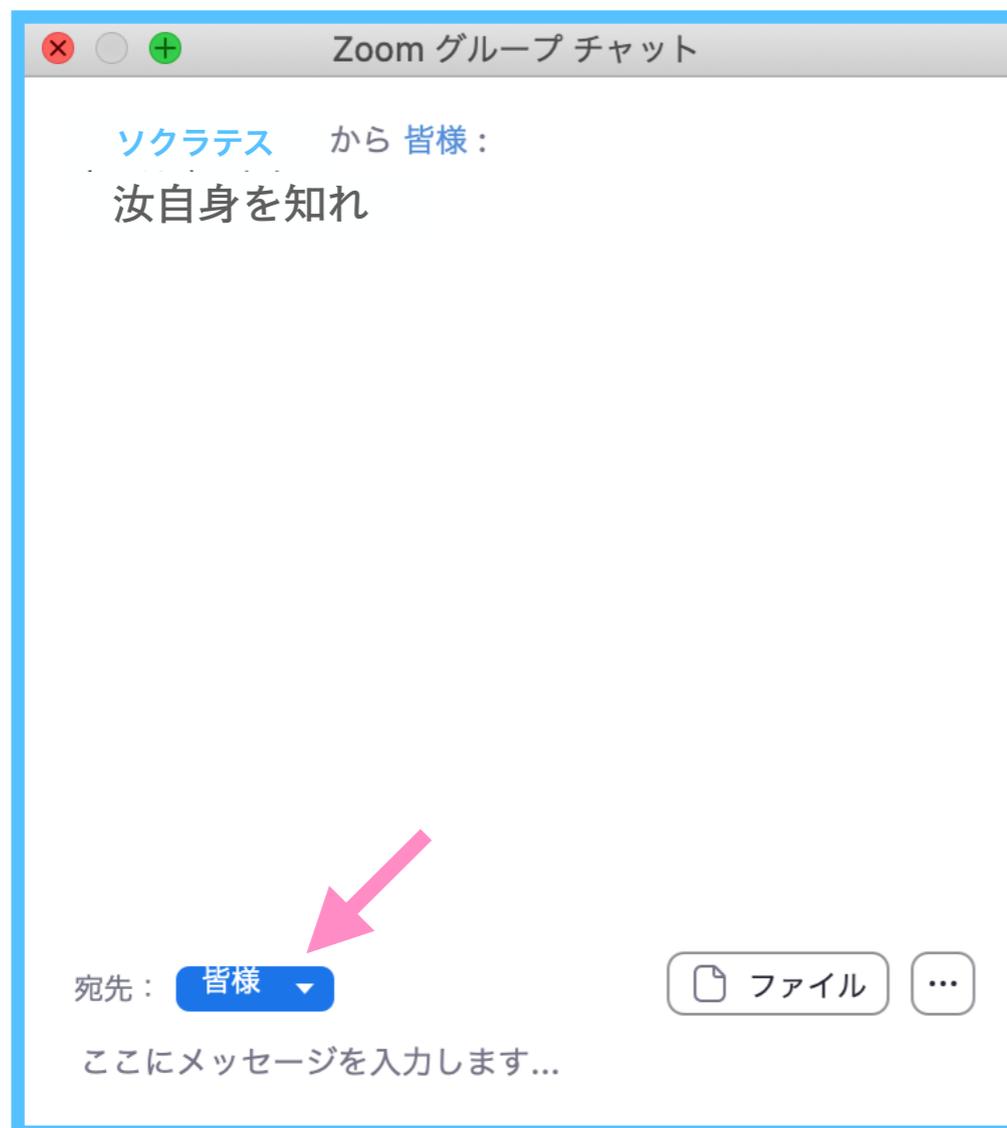
- 1 操作パネルに「チャット」メニューが表示されている例



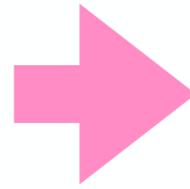
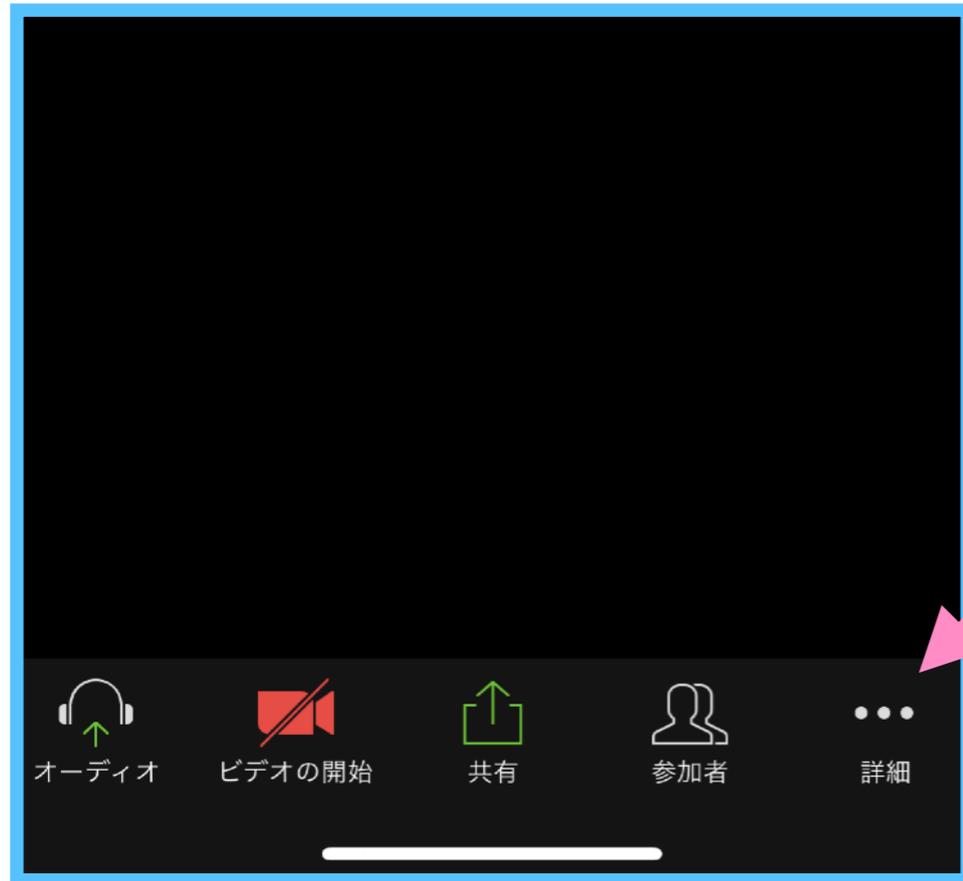
- 2 操作パネルに「チャット」メニューが表示されていない例



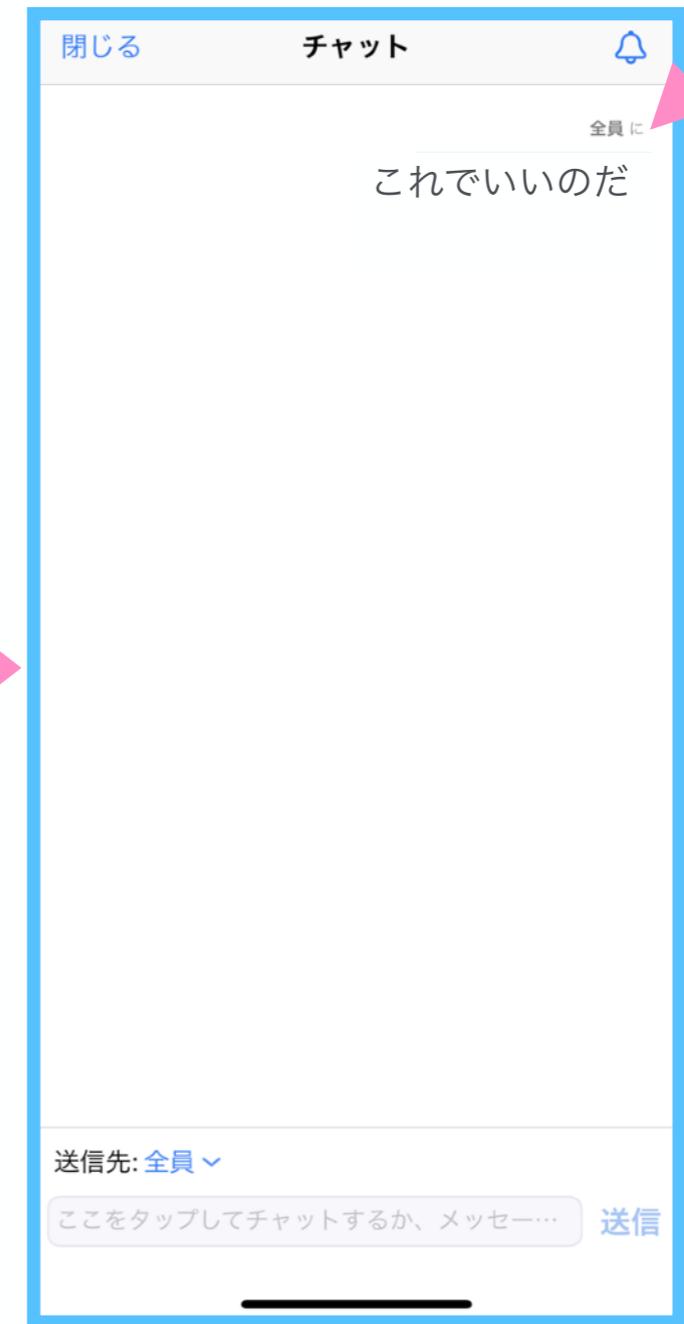
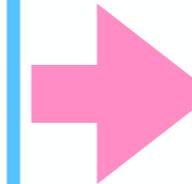
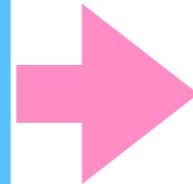
# パソコンの場合 全員宛メッセージの送り方



# スマートフォンの場合 「チャットの開き方」



# スマートフォンの場合 全員宛メッセージの送り方



Zoomの技術的な支援が必要な場合は、

さくりZoomサポート

[zoom@scri.co.jp](mailto:zoom@scri.co.jp)

までご連絡ください。

システムトラブルにより、Zoomの回線が切断されてしまった場合、画面がフリーズしてしまった場合は、ログインし直してください。

万が一システムが復旧しない場合は、次のサイトで、対応方法についてご連絡いたします。

さくりホームページ

[www.scri.co.jp](http://www.scri.co.jp)

## テクニカルサポート



さくり

- ・マイクやカメラを通じて、プライベートな情報が共有されないようご注意ください。
- ・飲食やキーボードに入力、来客など、止むを得ず雑音が生じる場合は、マイクをミュートにしてください。
- ・このワークショップの映像、音声、チャットの記録は、主催者によって記録されます。
- ・チャットは一度送信すると削除できません。送信前に内容をよくご確認ください。
- ・ワークショップの進行、内容に関することは、ファシリテーターに質問するか、チャットで質問してください。

## 注意事項

さくり

## 対話のルール

- ・一人ひとりの考え、想いを大切にする。
- ・おたがいの違いや多様性から学び合う。
- ・全員が話せるチャンスをつくる。
- ・いつも考えていることにとどまらず、  
その場で感じたこと、  
話し合いの中で生まれたアイデアを大切にする。
- ・フラットな関係で話し合うために、  
おたがいを「さん」づけで呼ぶ。

さくり

## 自己紹介

ファシリテーターに指名されたら、

- 1 おなまえ
- 2 お住まい、おしごと（話せる範囲で）
- 3 ゴールデンウィークの過ごし方

を30秒以内にお話してください。

お話が終わったら、**親しみを込めて拍手**しましょう。

さくり

新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について、  
現在の知識と直感を頼りに、次の選択肢の中からご自身のお考えに近いものを選び、チャットボックスに番号とそれを選んだ理由を入力して下さい。

- 1 評価できる
- 2 どちらかという人评价できる
- 3 どちらかという人评价できない
- 4 評価できない

記入例 1 . . . . . だから。

## アンケート



記入時間  
3 min

# チャットボックスでの改行 Windows : Shift + Enter / Mac : Control + Return

新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について、

よいと思う点はどこですか？

あなた自身のことでも、周りで言われていることでも構いません。

3つ以上チャットボックスに記入してください。

## ワーク 1

よいと思う点はどこですか？



記入時間  
3 min

# チャットボックスでの改行 Windows : Shift + Enter / Mac : Control + Return

## ワーク 2

よくないと思う点はどこですか？

新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について、

よくないと思う点はどこですか？

あなた自身のことでも、周りで言われていることでも構いません。

3つ以上チャットボックスに記入してください。

さくり

記入時間  
3 min

# チャットボックスでの改行 Windows : Shift + Enter / Mac : Control + Return

## ワーク 3

よくわからない点（疑問点）はどこですか？

新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について、

よくわからない点（疑問点）はどこですか？

あなた自身のことでも、周りで言われていることでも構いません。

3つ以上チャットボックスに記入してください。

さくり

記入時間  
3 min

# チャットボックスでの改行 Windows : Shift + Enter / Mac : Control + Return

これからインターネットを使った調査を行います。

いまの話し合いを踏まえて、

自分が調べたいと思った疑問点を、ひとつだけ、

チャットボックスに記入してください。

(注意)

- ・ 調査時間は、休憩を含めて30分間です。
- ・ 3回程度、検索してまとめられる分量が目安です。
- ・ 検索キーワードが思い浮かぶくらい具体的に  
お書きください。

## ワーク4

### 調査テーマの選択

さくり

記入時間  
3 min

# チャットボックスでの改行 Windows : Shift + Enter / Mac : Control + Return

これから、ご自身が選んだ調査テーマについて、インターネットで調査します。

・調査結果のまとめ

パソコンの方 Wordなどのワープロソフト

スマホ・タブレットの方 メモ帳などの文字が入力できるアプリ、またはお手元の紙

※調査後、おひとりずつ発表いただき、イベント終了後に、ファイルや手書きのメモ（写真）をお送りいただきます。

・記載の方法

箇条書きが良い。コピペでなく、自分の言葉で。

情報源（URLやサイト名、文書名など）をできるだけ書く。

## ワーク5

### インターネット調査



調査時間  
30 min

## ワーク6

### 調査結果の共有

調査したことを、順番に発表します。

ひとりの発表が終わったら、ねぎらいを込めて拍手  
しましょう。

さくり

一人当たりの  
発表時間  
2 min

新型コロナウイルス感染症をめぐる行政の対応について、対話と調査の結果を踏まえて、次の選択肢の中らご自身のお考えに近いものを選び、チャットボックスに番号とそれを選んだ理由を入力して下さい。

- 1 評価できる
- 2 どちらかという人评价できる
- 3 どちらかという人评价できない
- 4 評価できない

記入例 1 . . . . . だから。

## アンケート



記入時間  
3 min

# チャットボックスでの改行 Windows : Shift + Enter / Mac : Control + Return

## 事務連絡

- 1 インターネット調査の結果は、**本日中に**、メールで提出してください。

宛先 さくり 対話ラボラトリ

[zoom@scri.co.jp](mailto:zoom@scri.co.jp)

- 2 お送りするURLを開いて、本日の調査に関する**アンケート**にご回答ください。

- 3 本日初めて参加された方は、あわせて、**振込先の情報**を登録してください。



さくり

つぎの一步を **ごいっしょに**。

ありがとうございました

適宜、ご退出ください



手を振ってお別れ